

【平成28年10月13日 三重県議会 特別委員会 参考人資料】



Welcome to 2016 Junior Summit in MIE

ようこそ 2016年ジュニア・サミットin三重へ

Kuwana Citizens Council for the Junior Summit

ジュニア・サミット桑名市民会議

平成28年4月22日～28日 桑名市を主会場として開催





ジュニア・サミットを終えて

歴史に残る事業の開催地として、事業を完遂でき、感無量。



安倍総理大臣に「桑名ジュニア・コミュニケ」が提出された。



ジュニア・サミット桑名市民会議



本日の説明内容

1. ジュニア・サミット招致で目指したもの
2. 開催の成果と意義（レガシー）
3. 現状と今後の取り組み
 - 1) 世界に向けて開かれたまち【人材育成】
 - 2) インバウンド【ビジネスチャンスの仕組み】





桑名市が、招致で目指したもの

戦略①：『桑名をまちごとブランドに』（桑名市総合計画）

人口減少化社会の中、都市間競争で選ばれるまちに

《現状》

住みよさランキング・・・21位／790市

（2015 東洋経済新報社）

魅力度、認知度・・・446位、331位／1000市町

（2015地域ブランド調査：ブランド総合研究所）

《今後》

➤認知度向上により、訪れたい、住みたいと「選ばれるまちに」





戦略②：『世界に向けて開かれたまち』（桑名市総合計画） 『インバウンド』（桑名市ひと・まち・しごと創生総合戦略）

行財政改革の断行と併せ、新たな財源の確保を目指す。

《現状》

- 国際交流・・・海外姉妹都市や交流は、特になし
- 新たな財源・・・ふるさと納税：百万円^(H25)➢1億円➢3.5億円^(H27)
観光の産業化：入込1,800万人、外国人泊5千人
- 行政財政改革・・・事業の削減：99.7%による投資抑制、補助削減
民間資金の活用：PFI事業、ネーミングライツ

《今後（活路を見出す）》

- 『国際交流』・・・世界に通用する人材の育成と輩出
- 『インバウンド』・・・市場拡大の余地と経済効果の見込み大
- 『PPP（公民連携）』・・・共に補い効率的・効果的な事業運営





【市民の総合力】 開催の成果と意義：①シビックプライド・・・本物への気付きと誇り

➤桑名の伝統文化や施設を見学・体験したり、
J7に通訳する研修などを通して、多くの市民の方が
改めて桑名を再認識したり、再発見する機会となった。
まさに市が目指す、桑名の本物への気付きと誇りに繋がった。





開催の成果と意義： 【市民の総合力】
②市民の結集・・・桑名市民会議の設立

平成27年12月18日設立

加盟：42団体（官民連携）

《実績を数値で公表》

イベント・交流事業参加実績

合計49件、10,400人

①関連イベント：48件、8,400人

②交流行事：桑名ナイト、2,000人

※たくさんの方の参加に感謝





【認知度の向上】 開催の成果と意義：③発信による知名度の向上



1. パブリシティ効果

合計 184,847,192円

(内訳)

①新聞

191件、147,860,915円

②テレビ等映像

204件、20,515,996円

③ネットニュース

226件、16,470,281円





開催の成果と意義：

【公民連携】

④ 事業費を全額寄付で賄う

2. 寄附金、協賛金等

合計75,761,000円

(内訳)

①寄附金等

20件 合計38,220千円

②ふるさと納税

1,345件 合計26,900千円

③協賛金(広告協賛等)

40件 合計10,641千円



ジュニア・サミット桑名市民会議



【受入環境の整備】
開催の成果と意義：⑤ 初の国際会議の開催が、経験と実績に

➤ MICE招致が視野に。この経験と実績を更に市内一円に。



ジュニア・サミット桑名市民会議



【受入環境の整備】 開催の成果と意義：⑥ 人材の発掘と、おもてなしの経験と自信



➤ J7の子どもたちが、KUWANA NIGHTやサポートデスク等を通して伝統文化の見学・体験をしたことや、また市民と交流した数々の経験は、今後のインバウンドに繋がると期待。



ジュニア・サミット桑名市民会議



【国際理解の促進】 開催の成果と意義：⑦若者の 歴史・文化の触れ合いと多様性の理解

～ 国内・国際交流の促進に（市内外から多くの参加）～



- 市内の高校生と留学生による国際交流ツアーを実施し、桑名の伝統文化を見学・体験し、交流を深めた。
- ローカル版「ジュニア・サミットin桑名」においては、世界各国の学生と市内外の高校生がテーブルを囲んで意見交換し、多文化への理解が進んだ。
- 団体や個人が、環境美化から通訳のボランティアとして幅広く参加し、おもてなしの輪が広がった。





ポストジュニア・サミットに向けて

～現状と今後の取り組み～

1. 世界に向けて開かれたまちの推進（若者の人材育成）

➤世界各国の若者と触れ合い、文化的な多様性を理解し、意見交換をする中で グローバルな人材を育てたい。

- ①国際交流事業の実施
- ②国際理解教育の推進

2. インバウンドの促進（ビジネスチャンスの仕組みづくり）

➤桑名市への滞在と消費による地域活性化

- ①国際会議の誘致
- ②国際的な観光まちづくりに向けて稼働

➤国際観光まちづくりKUWANA推進協議会の発足



i. 産業観光、 ii. 教育観光、 iii. 着地型観光を、民間主体でトライアル



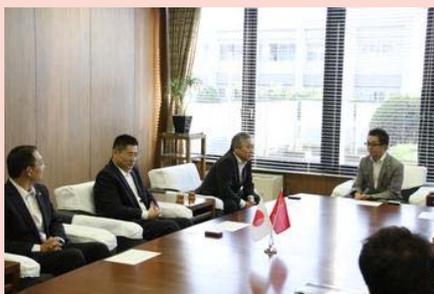


ポスト事業の進捗状況

～今年度にトライアルを実施、次年度からの自走を目指す～

【産業観光プログラムツアーの状況】

9月6日～8日 桑名市では産業観光ツアーを実施していくにあたり、今回、初めて中部産業連盟とあわせて海外から北京中産連経済技術有限公司の方々を招聘し、市内の企業や寺町商店街を巡る産業観光プログラムツアーを行いました。



(市長表敬訪問)



(桑原鋳工株式会社 視察の様子)



(イオンモール桑名 視察の様子)

【教育観光の試行状況】

10月4日 台湾高雄市
からの教育旅行の視察団
局長、学校長15校来庁



(市長表敬訪問)



(NTNグリーン
パワーパーク)

ジュニア・サミット桑名市民会議





結びにあたり

伊勢志摩サミット、ジュニア・サミットを一過性にしないよう
知名度と経験、そして恵まれたポテンシャルを活かし、
世界に向けて開かれたまちを、具現化して参ります。
引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

